

第64回全国植樹祭式典音楽専門委員会(準備会)議事録

平成24年1月30日

15:30～17:30

西部総合事務所第3会議室

(凡例)

●…委員発言

○…事務局職員発言

1 開 会

○梅田参事

それでは定刻となりましたので、ただ今より「第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会式典音楽専門委員会」の準備会を開催させていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます、全国植樹祭準備室の梅田と申します。よろしくお願いいたします。

それでは開会に当たりまして、全国植樹祭準備室長の北からご挨拶いたします。

2 あいさつ

○大北室長

皆様あらためましてこんにちは。只今ご紹介いただきました全国植樹祭準備室で室長をしております大北と申します。よろしくお願いいたします。

本日は委員の皆様方にはお忙しいところこの会に参加いただき感謝申し上げます。全国植樹祭につきましてはご案内の通り本県では48年ぶり2回目の開催ということで、本番まであと1年と4ヵ月あまりでございます。

開催地が決定されますのが本年の9月頃ではないかということでございます。5月中旬から6月上旬までのいずれかになろうかという状況でございます。

先般24日には実行委員会も開催されまして大会の骨格となります基本計画案が承認されたところであります。来月の8日には衆議院議長公邸、実はこの全国植樹祭の大会会長というのは衆議院議長でございます。その公邸でこの基本計画案が決定するというようになります。

また本日は県庁内での意思疎通を図ろうということで、副知事がトップで庁内連絡会議というものが開催されまして着々と準備が進みつつあるところでございます。

全国植樹祭の式典において式典音楽隊というのは式典の中での花形でもあります。まさに式典音楽隊と共に式典が進行するわけでありまして、過去私も先催県の式典に参加してまいりましたが、式典音楽に身震いするぐらいでございます。厳粛な中に参加者に感動を与える存在でもございます。しかしながら式典音楽隊に参加される皆様には屋外での演奏・合唱に加えて雨や風など条件的に厳しいコンディションでございます。大変ご迷惑をおかけすることになります。大変申し訳ないと思っておりますがどうかよろしくお願いいたします。

4月からは私ども全国植樹祭準備室もこの庁舎に全面異動いたしましてご当地米子市で実施に向けて委員の皆様方と現場に近い所でいい仕事をしていきたいと思っております。

本日は初回ということもあり忌憚無いご意見を頂戴しながら大会の成功に向けて尽力い

ただかなければならないところもあると思いますが精一杯努力して参る所存でございますのでよろしくお願いいたします。

(出席者自己紹介)

○梅田参事

本日は式典音楽専門委員会の正式な設置に先立った準備会という形で開催させていただきます。今回初めての会議でありますので、出席者の皆様方から自己紹介をいただければと思います。一言ずつお願いいたします。

●竹田大助委員（鳥取県吹奏楽連盟理事長）

鳥取県吹奏楽連盟の理事長をやっております米子北高校の竹田と申します。よろしくお願いいたします。

●小谷幸久委員（米子市文化協議会会長）

米子市文化協議会の会長を仰せつかってます小谷と言います。よろしくお願いいたします。

●池田明弘委員（鳥取県合唱連盟副理事長）

鳥取県合唱連盟の副理事長をやっております池田と申します。よろしくお願いいたします。

●新倉 健委員（鳥取大学附属芸術文化センター教授）

鳥取大学の芸術文化センターの新倉です。よろしくお願いいたします。

●井上拓也委員（鳥取県オーケストラ連盟副会長）

鳥取県オーケストラ連盟の事務局長と鳥取市交響楽団でチェロをしております井上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○大北室長

あらためまして大北でございます。よろしくお願いいたします。

○梅田参事

あらためまして梅田でございます。よろしくお願いいたします。

○濱本主幹

濱本です。よろしくお願いいたします。随分前に竹田先生のところとか池田副理事長のところへお邪魔していましたが、ちょっと開催が遅れましたことをお詫びいたします。今後ともよろしくお願いいたします。

○近藤主幹

全国植樹祭準備室の近藤です。今年は主に基本計画の計画策定を中心に仕事をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

○坪倉主事

全国植樹祭準備室の坪倉です。県民運動、全国植樹祭本番に向けての盛り上げなどの仕事をしております。よろしくお願いいたします。

3 内 容

(1) 第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会について

○梅田参事

冒頭最初に参加の皆様方にご同意をお願いしたいのですが、この専門委員会は公開ということにさせていただきたいと思います。また会議のやりとりはホームページで公開させていただきますのでご承知をお願いします。

本日の進行役につきましては準備会でもありますので、私が進行役を務めさせていただきますと思います。ご了承下さいませ。

それでは議事に入りたいと思います。議事進行については、皆様方のご協力よろしくお願いたします。お手元の次第にしたがいまして議事を進めたいと思います。

はじめに、次第の3の(1)ですが第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会につきましてご説明したいと思います。よろしくお願いたします。

○坪倉主事

お手元の資料1、「第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会の組織について」をご覧ください。先程室長の大北が挨拶で申し上げましたとおり、この植樹祭は公益社団法人国土緑化推進機構と開催県の共催となっております、これに基づきまして開催県に実行委員会がおかれるという形でございます。

実行委員会は一昨年平成22年の6月28日に設立しておりまして、委員の方は知事を会長としまして開催地の行政関係、あるいは民間の林業・森林保全の関係の方、開催地を始め市町村などの右のようなメンバーとなっております。この実行委員会においては基本計画の案が決定したところですが、これから基本計画が実施計画に移行していきます。こういった計画の内容の策定と運営をしていく、こういう事柄が実行委員会に属していることですが、この中でこの実行委員会にあげる議案については幹事会に委嘱をする形になっております。またさらに専門的事項につきましては専門委員会に委嘱をされることになっております。

本日の準備会を開催させていただきます式典音楽専門委員会につきましてもこの専門委員会の一つとして設定されることとなります。県庁の中には全国植樹祭鳥取県実実施本部がおかれる全庁的な運営体制でございます。

裏面をご覧くださいますと、こちらに全国植樹祭実行委員会の会則の中ではどのようにこの専門委員会が規定されているかと申しますと、第9条第3項第5号で専門委員会へ付託する事項は総会で決定するとありますが、もうこれは平成23年度中に式典音楽については専門委員会を付託すると決まっていたので、これに基づきまして同じく会則の第12条で専門委員会が設置をされたという次第でございます。またこの会則の第12条第7項に基づきまして、審議いただいた結果につきましては後の総会に報告をさせていただきますこととなります。議事の決定は出席者の過半数により決定する方式をとらせていただきます。

以上でございます。

(2) 第64回全国植樹祭の概要について

○梅田参事

只今の説明について何かございますでしょうか。

次の議題に入りたく思います。(2)の第64回全国植樹祭の概要についてお願いたします。

○坪倉主事

お手元の資料2、「全国植樹祭とっとり2013」をご覧くださいませ。

まず全国植樹祭についてご説明申し上げましたあとにこの音楽が使われます式典の様子は後ほどビデオも交えてご覧いただければと思っております。

1ページですが、植樹祭につきましては天皇皇后両陛下が通例ご出席になるということで昭和25年以降ずっと開催されていますけども、前は鳥取県では昭和40年に大山町で開催されたということでこれがその時の様子でございますが、以来48年ぶり2回目の開催となります。

鳥取県の第64回の全国植樹祭でございますが既に大会テーマ、シンボルマーク等を2ページに記載のとおり公募をしているところでございまして、たとえば皆様にピンバッジを配りましたシンボルマークのキャラクターについては、「トッキーノ」という愛称ですけども、このように県の内外から公募をして皆さんに参加いただく形でさせていただいているところでございます。

3ページ目でございますが、会場につきましてはこの式典が行われるのはとっとり花回廊の今芝生状になっております駐車場を整備しまして、大会の式典会場とする予定でございます。こちらに、全国からの招待者の方5,000人、それから、スタッフ2,000人の7,000人規模で開催ということで、日程は先程大北が申し上げたとおりでございます。本年秋に決定でございます。

式典の演出につきましては後ほど見ていきますが、おもてなしということと地元の方を始め県内関係団体等の参加ということの色を出すと。それからもちろん植樹祭でございますので自然とか森林を守っていこう・育てていこうというのを入れていくことになってございます。

この式典はメインイベントが4ページに記載しております天皇皇后両陛下が自ら木の苗・種を播かれるお手植え・お手播きがございまして、これがまさに式典のメインイベントとなるところでございます。この木もとっとり花回廊やもう一箇所の植樹会場として予定されております奥大山鏡ヶ成高原の実際の現地の気候に合ったものが選定されております。

会場の位置図を5ページに記載しておりますが、今申し上げましたとおり式典会場がとっとり花回廊、その中に別に植樹会場を設けまして、奥大山鏡ヶ成高原がもう一箇所の植樹会場、天気が荒れた場合には米子コンベンションセンターで規模を縮小して開催というオプションとなっております。

また植樹祭は日曜日に開催予定ですが、前日の土曜日には中部地区と書いてございますが、三朝町で「全国林業後継者大会」という関連行事が開催されることが決定しております。

6ページでございますが、会場の配置図です。こちら式典会場が左側が正面ゲート側となります。右側が日野川が流れている溝口の町の方になるわけですが、式典会場は正面ゲートから入った所の駐車場に整備をされ、その前の舗装された駐車場の所が当日は地域芸能や地域物産の販売が披露されたり販売の実演が行われたりという、おもてなし広場とされる予定でございます。写真の右上ですがこちら花回廊いやしの森ですがこれは花回廊の園中ですがここの森を植樹会場として整備する予定でございます。

7ページが会場のパース図でございます。大山がよく見えるロケーションでございますが、この図の中ほど上にあります半円形のステージ状のものが、天皇皇后両陛下がご着席をされる「お野立て所」と呼ばれる施設でございます。こちらは当日天皇皇后両陛下がご着席される専用の施設として使われますので、こちらは音楽等とは直接関係ないですけども、保存されていく予定もでございます。

そしてこの手前の少し客席との間の少し広がっている芝生の所で様々なアトラクションや演出が行われることになっております。

お野立て所に向かって右側の階段状になっております、屋根を半透明にしてありますがこちらに楽団のボックスが組まれる予定でございます。

手前が5,000人の招待者が並ばれる席と、お野立て所の両脇には特別招待者と呼ばれる大臣・議員の方が着席される場所が設けられると、こういう会場レイアウトになっております。

花回廊のいやしの森は交流の森・学習の森・体験の森・生活の森という4つのゾーンで整備をされることになっておりまして、植樹祭に向けて、そして植樹祭の後もその理念を広めていこうということになっております。

次のページからは先催県の式典の様子ですがこちらはビデオを視聴いただくことにさせていただきますたいのですが見る前にご承知いただきたいのが、こちら福井県がプロローグ・記念式典・エピローグの3部構成をとっております、それぞれ14ページからが記念式典の様子、22ページからがエピローグの様子が載っているのですが、鳥取県でも同様の3部構成が予定されております。

まず、プロローグは全国からお越しになる招待者の皆様をお出迎えする演出がメインとなっております。

記念式典では先程申し上げた、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播きがございまして、また主催者の挨拶がありました、県民の方がテーマを表現するアトラクションをされるくだりもございます。

エピローグにつきましては、県民総参加による出演者・招待者が一体となった演出が行われて感動のフィナーレを迎えるという形となっておりますので、後ほどビデオでご覧いただけるかと思っております。

25ページにまいります。当日の植樹の様子はこのような形となります。

先程申し上げたおもてなし広場は26ページのような様子、27ページ以降は県民の方がおもてなしやそういったところで盛り上げていくということで色々な取り組みが載っているわけでございます。

27・28ページは和歌山県などの先催県のおもてなしの様子でございます。

鳥取県の方では全国植樹祭に向けて緑を守っていこう・森林を大事にしていこうという県民の活動の輪を広げていこうということで、美鳥の大使という県民運動に取り組んでいるところ、これが30ページでございます。

また植樹祭と同じ年には全国都市緑化フェア・エコツーリズム国際大会というやはり自然を大事にしようという趣旨の行事が予定されておりまして、とっとりグリーンウェイブとして広げていこうということがございますので、式典の中でもこういう広がりというのが入ってくるかなということでございます。

31ページの学校との協力というのは先程申し上げたとおりで、トッキーノですとかポスターの原画というのは小学生からも応募があったりということで、ポスターの原画は実際に小学生が書いたものが採用されております。

32ページは小学校に全国植樹祭で使う苗木を引き取って育てていただいて会場で当日使わせてもらうスクールステイ、あるいは同じように企業でもやろうというホームステイをやっております。

33・34ページはみどりの少年団についてですが、小学校単位で設置されている団体ですけれども、緑を守ってふるさとを愛して心豊かな人間に育てていこうということで色々な活動をやっているのですが、後ほど見ていただきますが過去の植樹祭においてはみどり

の少年団の子供達が色々と天皇皇后両陛下のお手植え・お手播きのお手伝いをするようになってきますので、やはり式典の全体の流れの中での主要な登場人物としてこのみどりの少年団がでてまいります。

35ページですがもろもろのイベントが開催が予定されております。5月には鳥取県植樹祭が1年前の記念行事として開催の予定もございます。トッキーノのキャラバン隊が県内の市町村を回りましてPR活動にも務めているところです。

植樹祭の概要については以上でございます。

(質疑応答)

○梅田参事

ペーパーベースでのご説明は一通りしていただきました。この後は福井県のビデオを見ていただきます。ここまで、何かご質問はありますでしょうか。

●竹田委員

会場は南部町と伯耆町の境ですかね。

○近藤主幹

花回廊自体は南部町部分と伯耆町部分がありまして、式典会場は南部町になります。植樹会場は伯耆町という部分に入ります。

●竹田委員

先程のみどりの少年団の部分に会見小学校が入っていなかったのが、地域との関連はどういう風にされていらっしゃるのか。溝口・日光が入ってましたけど。

○近藤主幹

新たに出来たところ。南部町は元々、会見第1・第2、西伯小学校は出来ております。新たに旧溝口町が全然無くて今回お願いして作っていただいたということでここに載っております。

(3) 先催県での式典音楽について (ビデオ視聴)

○梅田参事

他にお尋ねがありませんでしたら後ほどまたまとめてということで、まずはビデオを見ていただきたいと思います。次第の先催県での式典音楽について。平成21年に福井県で開催されました第60回の全国植樹祭のビデオをご覧くださいながらご説明したいと思います。

～～～ (3) 先催県での式典音楽について (ビデオ視聴) ～～～

(質疑応答)

○梅田参事

以上、ご質問はありますでしょうか。

●池田委員

時間はどれくらいでしょうか。

○坪倉主事

トータルタイムは2時間程度です。

○大北室長

そのうち、式典部分は50分くらいです。

○濱本主幹

資料4に時間を書いてございます。プロログが約40分、記念式典が約50分、エピ
ログが約15分、余分もみてあります。正味、1時間50分くらいです。

●新倉委員

言葉はどなたが作るんでしょうか。福井県の場合はどうだったのでしょうか。

○濱本主幹

基本計画・実施計画を委託しているところ（JV）になります。

●新倉委員

そこには言葉の専門家はいますか。

○濱本主幹

現在のところ言葉の専門家の方とは打合せしていませんが、台本を書く方はおられます。

●小谷委員

先ほどの楽隊の人数は。

○濱本主幹

参考の2をご覧ください。今日ビデオを見ていただいたのは、第61回、福井県です。

●新倉委員

和歌山がほかより少ないな。

○近藤主幹

和歌山は通常より規模が小さく、3,000人規模でした。これは既設の会場でキャパ
が小さかったため、通常は5,000人規模です。

○濱本主幹

なお、神奈川県（第61回）は式典が足柄会場、秦野会場の2カ所に分かれていました
ので、ここには秦野会場について記載しています。

●井上委員

参考1の作曲者の先生のお名前の字が違うので直しておいてください。「堀田“康”元」
さんと書いてありますが、「“庸”元」さんというお名前です、福井出身の方です。

○坪倉主事

失礼しました。直しておきます。

(4) 委員長及び副委員長の選出について

○梅田参事

それでは質問はここまでとして、次の議題、委員長と副委員長を選出いただきます。会則上、実行委員会会長であります鳥取県知事が委嘱をすることになっております。

選任について、いかがでございましょうか。

●井上委員

事務局案はあるんでしょうか。

○濱本主幹

では、よろしければ事務局から提案させていただきたいのですが、委員長を小谷米子市文化協議会会長、副委員長を新倉先生にお願いしたいと思います。

●新倉教授

もしできれば竹田先生が近いですし、多分吹奏楽が中心になると思うんですよ。だからやりとりが出来るということと、もしアレンジの必要があればできるくらいなんで、竹田先生にやっていただくとありがたいですけど。委員長は、小谷先生にぜひ。

○梅田参事

では新倉先生からご提案ありました委員長に小谷先生、副委員長に竹田先生という案でございしますが皆様方いかがでしょうか。

●全委員

異議なし。

○梅田参事

異議が無いということでさせていただきます。それでは小谷先生、委員長よろしくお願ひします。竹田先生に副委員長をお願いします。次回会議からは小谷先生に議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(5) 式典音楽専門委員会での今後の検討事項について

○梅田参事

それでは今日の最後の議題でございます。(5)の式典音楽専門委員会での今後の検討事項についてですけれども、事務局からご説明させていただいて、討議をさせていただきます。

○濱本主幹

準備しました資料は資料3・4がございします。資料3は式典音楽専門委員会の検討事項(案)、資料4は全国植樹祭式典で演奏される楽曲等の検討計画(案)を準備いたしました。この2つで私どもで考えていることをご説明させていただいてご意見いただきたいと思っております。

資料3に検討の範囲と書かせていただいております。同時に先程のプロローグを見てい

ただきたいのですが、プロローグでは今見ていただいたようにどんなところに音楽を使われているか、その音楽を検討いただきたいということでございます。感謝状贈呈のBGM・記念切手贈呈のBGMのプロローグの音楽があります。記念式典では天皇皇后両陛下の御着・発時（着席される時・お発ちになる時）の演奏音楽、三旗掲揚、国歌斉唱の時、記念式典の行事のBGM・ファンファーレを検討お願いしたいと思います。エピローグでは大会フィナーレを飾る演出・楽曲を検討いただきたいと思います。

先程新倉先生からご質問いただきましたように、今基本計画が検討されて案が出来たばかりですが今後は実施計画を立てて、外部に一部企画案を発注することにしておりましてそこでエピローグについてはこれから案を練られるわけですが、そこはちょっとまだ具体的にはご説明出来ませんが、そういうところに音楽がでできますので検討をお願いしたいと思います。

2が私が今までの経験等をふまえて勝手に書かせてもらっております。どういう風に今後検討していかないといけないかを書いたものですが、式典で演奏する曲の選定・演奏形態の検討・出演者等の選定・練習計画と実施、最後に演出等もありますので衣装や配置、先程ビデオで手を振ったりありましたけどそういうことも演出の中にあるかなど。順番等も含めてご意見をいただきたいと思いますが、こういうことが大まかには必要かなと思っております。右にもっと細かく考えるとこういうことが必要かなと持っているのが、やっぱり鳥取県らしいとか先程見ました福井県らしさとかとなると思いますが選曲の基本方針。既存の曲がどこまでをいうかわかりませんが創作曲か。生演奏か既存音源でCDとかも使っているようですのでCDを使うか。福井ではコカリナとか福井県に因んだハーブとかを使っておりますけど吹奏楽・合唱とかの編成、どういう楽器でいくか。規模。西部で行われますので練習のしやすさ等も考えて出演者の検討。指揮をどなたにさせていただくか、新しい曲なら作曲・編曲者の検討。既存の行事と調整してどういう風に練習していくか。全体リハーサル等もありますのでどういう風につなげていくか。衣装をどうするか。屋外ですのでそれに備えた準備も検討していかないかと思っております。来年の5月中旬から6月上旬までの日曜日となりますので、どの時点で決めていかないといけないのか、何を最初に決めていかないかについてご意見をいただけたらと思っております。

参考までに参考資料というのが、私ども鳥取県では第64回ですが先催県での使用楽曲を出来るだけ集めております。

～～～参考資料の説明～～～

(質疑応答)

●新倉委員

このスケジュールはどこかを参考にしていますか。それとも独自で。たとえば定期練習の時間・時期というのは何かもう、モデルになるものがありますか。

○濱本主幹

参考にさせてもらったのが今基本計画をお願いしているところ（乃村工藝社）が和歌山をやっておられまして、そこを大体参考にしています。前の準備もありますので夏休みくらいからかかると良いかなと思っております。

●池田委員

今日はどこまでを決めるというのも決まってないのですか。

○濱本主幹

今日はまず植樹祭をよく知っていただくことと、今私どもが説明させていただいたことに何かご意見をいただけたらと思っているのが1番です。

●井上委員

ベースになる出演団体がね、合唱と吹奏楽が大きな割合を占めるようなんで。まずそこだけは心づもりをしておかなければならないんじゃないでしょうか。

○濱本主幹

私がこの会議の前に色々皆さんにご相談しまして、合唱は〔平成〕25年度は大きな大会は鳥取県ではまず無いと合唱連盟からは聞いておりました、なんとかご協力いただけるのではないかとということだけはお話をいただいているところですが、こういう細かいところまで示すのは今回が初めてでございます。

●新倉委員

高校生って合唱連盟に入ってる？

●池田委員

入ってます。

○濱本主幹

資料4に創作劇があります。イメージではミュージカルというほどではなく、演劇のバックに音楽が流れるという格好、これから制作する予定にしております。ここはまだものが出来ていないために、詳しい説明ができません。今ビデオで見て、音楽が必ず要するところは、両陛下の入場音楽やファンファーレ、国歌斉唱は今のところ説明できますが、創作劇は今後詰めていくところとしてイベントの制作会社（JV）ともうちょっと協議したいところがございます。いずれにしても音楽はあると思いますので、真っ二つに切って協議を進めることが出来ないのも、こちらにも進行状況を報告したりがあるかもしれません。

●新倉委員

出来ていないというのは作っていて出来ていないのか、まだどこがやるか決まっていらないのか。

○濱本主幹

依頼していない。出来ていないに近い。

●新倉委員

たとえばさっきちょっと言ったのが、この創作劇の内容やエピローグの最後のアトラクションというのは一貫性が無くても良いのか。一貫性があるようにJVが依頼しているわけですか。どこかに依頼するとか。

●井上委員

その辺はちょっとお任せということですかね。

●新倉委員

ストーリー作りはね。

●井上委員

あとファンファーレの曲を新作にするかどうか。さっきのも多分堀田さんという人が福井県ご出身ということでそちらで作られたのかなと思うし、去年やった豊かな海づくり大会でも鳥取市出身の上萬（じょうまん）さんという作曲家に書いてもらいましたので、ファンファーレに関しては新たな曲の方が面白いのかなという気はしています。国体のときに作った懐かしい既存の曲がありますけど。

●竹田副委員長

国体のときは、僕が作った。(笑)

●井上委員

僕も、演奏しました。

●竹田副委員長

それよりも、新倉先生にポーンと、書いていただくとかね。

●新倉委員

いやあ、それはちょっと…

●竹田副委員長

まあ、そういうことを決めていくというわけで。(笑)

○濱本主幹

全体的なことをはっきり検討して、新作にするかどうかもある必要と思っています。

●井上委員

もうひとつ、オーケストラの立場で言えば、弦楽器となるとどうしても野外に持ち出すのが非常に怖いので、無いと思うんですけどもしあったとしても、野外用レンタルの楽器を借りていただかないとちょっと困る。どんなプロのバイオリニスト、鳥取出身でプロで活躍されてるバイオリニストをBGMのどこに曲を弾いてもらうかもわからない。そういった段取りとかも考えていかないといけないかなと思いますので。そういうレンタル楽器がどういう風に統一するかどうか。野外オペラとかもしょっちゅうあちこちやっているので、そういう時はごそっとレンタル楽器借りるらしいので。ただ弦はそれでいいけど管楽器はそんなに無いらしくて。結局オーケストラを屋外でというのは、辛いなというところですね。

●新倉委員

7ページの演奏するガラス張りの屋根はあるけども脇は空いてるわけですよね。それはもう決まってるんですか、設計が。脇も固めれば大分違う、雨・風の時に。

○近藤主幹

設計はまだですね。これからです、イメージパースでとじてできているだけで。

●新倉委員

これは取り壊すんですかね。このご臨席のところは残す。

○近藤主幹

お野立て所は残します。

○濱本主幹

これから作って、花回廊の野外ステージとして残す予定です。

●新倉委員

両サイドの平屋の長屋は無くなりますか。

○近藤主幹

無くなります。

●新倉委員

それにもよるよね。スースーだとなかなか怖いものがあるよね。ステージみたいになるわけですよね。出来れば横もあると反響もするし。屋根は、透明に描いてあるが？

○近藤主幹

イメージさせるために透かしてあるだけで透明ではないです。

○濱本主幹

今後、まずどこから協議に入ったらいとか、次の会議までご相談させていただけたらと思いますし、ここからがまず最初だということを教えていただけると調整もさせていただきますし、次の会議にも引き継ぎも色んな提案が出来たり進んだりすると思います。

●小谷委員長

基本的に演奏形態はとりあえず合唱・吹奏楽はどうしても必要。ものによっては弦楽器も。そこだけは決定せざるを得ないし、規模にしても福井県や神奈川を参考にすると、やっぱりそのくらいの規模・人数。吹奏楽が120～30、合唱が120～30。

●新倉委員

合唱が揃うかどうか。特に大人の声がいるかどうか、男の。

●池田委員

高校生が、男声合唱団がある高校まで声を掛けたとして、揃うかどうか。

○濱本主幹

編成には、バランスというものがあるのでしょうか。参加していただけたところも念頭において規模を決めた方が。

●井上委員

100～120としておいてちょっと動きながらというか団体を決めた時に微調整。

○濱本主幹

事務局の話ばかりで恐縮ですが、吹奏楽は高校生を中心にと念頭にあったんですが。次の会議でもよろしいんですが。

●竹田副委員長

この会議でするのか、昔のわかとり国体みたいに中学生を入れるのか。国民文化祭なんかは中学生も合同だった。

●池田委員

中学生・高校生は、吹奏楽部と、合唱と。

○濱本主幹

合唱もでしたか。

●新倉委員

高校生はどうなんでしょうか。今言った、国文祭は。

●竹田副委員長

高校生は、やっています。インターハイがありますので。

中学生については、県の方が指針を出されたらそれから私達は考えていけないといけない。中学生も入れてもらえませんか、ということで。

●小谷委員長

南部町と伯耆町との関わりで地元の中学生を使って欲しいとかっていう方針であるならそれでまた考えないといけないし。地元の意識は。地元が納得しないと。せっかく花回廊であるのに何で地元の生徒も吹奏楽を活用してるのに無視するんだという声もしあがるとすれば、やっぱりそれは問題になるかなと思うので。

●竹田副委員長

植樹される場所は2箇所ありましたっけ。それは同じ日でしたっけ。そこでは式典の音楽とかは無いですね。

●井上委員

他の出演団体でも地元の方がもし無いということだったら、吹奏楽とか合唱の中でうまく入っていただく工夫があったらいいのかもしれないですね。

●小谷委員長

福井では、小学生とかも出てましたよね。ああいうので地元を使うから式典音楽はそこまで考えなくても良いよと言われてればそれで良いと思うし。その辺の方針は県で示してくださったらいいのかなと。地域との関わりについてはね。

●新倉委員

福井の時に小学生から年配の方まで色々な世代の人がいるのがありましたでしょ。そこら辺は同じコンセプトでいくという意志があるのかによって合唱なんかも、さっきのじゃあ無理に男声使わなくてもいいじゃないかとか。もし高齢の方も一緒に参加した何か大きな合唱があった方が良いというなら適当な曲があればということですが、なければなかなか難しい。無理に男性使うと大変なことになるような。高校生と若い子ども達でいくっていうのだと割とすっきり。団体に頼んで了承すればいい、練習も割とやりやすいんじゃないかと思えますけどね。

○大北室長

その、吹奏楽の場合に中学生と高校生でレベルと言いますか、多分5月か6月なので新しい3年生・2年生になると思うんですけどそのレベルというのはどうでしょうか。

●竹田副委員長

それはもう歴然とした差はありますけど。でも今まで、国体も、中学生が一緒にやってきたんですよ。大山町でインターハイが行われたときには、大山中も入っていますし。

●新倉委員

福井は楽器3つが特色ででてましたけど、楽器とは限らず、何か鳥取らしさみたいなのは演出の中にまだ出てこないですか。たとえば妖怪が出てくるとかそんなことはあり得るんですか。それから童謡唱歌の件ということと。

○濱本主幹

選曲の基本方針と書いたんですけど提案の一つでは、やっぱり童謡唱歌にしたらどうかという提案でした。

●新倉委員

ないかなあ、独自の楽器というのは。土笛とか。

米子で古代の琴、八雲琴というのをやっている方がおられるようだ。あと、豆腐ちくわを使った、トウフルートというのがあったか。(笑)

●井上委員

あれは、演奏が難しいらしいですよ。(笑)

○濱本主幹

楽器と吹奏楽の編成などの私どもの方針を決めてというのが先になりますかね。

●井上委員

そうすると自然に指揮者は多分、合唱と吹奏楽にお詳しい方ということになってくると

思います。

○濱本主幹

そうしましたら次回までにちょっと詰めさせていただいたり、連絡させていただいてこちらの案も作らせていただきたいと思います。

●池田委員

CD音源は使いたくないね。

●新倉委員

次はどのくらいの時期になるんですか。

○濱本主幹

今ご意見いただきましたので、ちょっと一月後くらいに。日程調整させていただきたいと思います。

●新倉委員

全国植樹祭が土曜日になるってことは絶対に無いですね。日曜ですね。

●竹田副委員長

6月の第1日曜日になると鳥取県は高等学校総合県総体と県の総合音楽会を同時にやるんですよ。かぶっちゃうと高校生が出れない。

○濱本主幹

9月に開催日が決まるので、日にちを代えてもらうことはできるのですか。

●竹田副委員長

そうなると高文連の担当。現在は倉吉西高校が事務局ですが、代わる予定。

○濱本主幹

どっちにしても6月開催の場合、第1週というのは決まっているんですね。

●小谷委員長

高体連の行事と同じ日には出来ないから。高体連と高文連に打診をされると。

4 その他

○梅田参事

最後にプレ植樹祭について簡単に情報提供させていただきます。

○近藤主幹

資料5を見ていただけますでしょうか。第64回全国植樹祭のプレ植樹祭を開催する予定です。これは例年行っております鳥取県の植樹祭58回目になりますがこれをプレ植樹祭という形で実施したいということで、日も5月20日と決定しております。伯耆町・南部町にありますとっとり花回廊、全国植樹祭と同じ場所でやる予定にしております、県・

緑の羽根募金をやっています緑化推進委員会などと共催でやっていきます。

参加者人数は例年1,000人ですが1,500名規模でやっていきたいということで先程見ていただきましたビデオの中身ほどではないですけど、それを小さくコンパクトにプログラムをこしらえてやっていく形にしております。

全国植樹祭の試行的運営という形で少し考えておまして、特にこの委員会で関係してくる部分が吹奏楽・合唱の生での出演を検討委員はしているところがございます。音楽につきましては先程見ていただいたところ言えば、みどりの少年団の入場行進や開会宣言、三旗掲揚、お手植え・お手播きなどのBGM、大会テーマ表彰式、あともしできましたら昼休みのアトラクションということでコンサートのことをお願い出来ないかというようなことを今我々の側だけで考えている状況でございます。

これにつきましては実行委員会を作りまして2月には話し合いをしたいと思っております、どういう形であれば出演いただけるのかを吹奏楽連盟の方や合唱連盟の方と個別に相談させていただければと思いますので、ご検討よろしく申し上げます。

●池田委員

学校だけでなく教育委員会もからめてですよ。多分中間テストあるんですよ。中学・高校は中間テストとぶつかる可能性がありますので、ちょっとそこらへんはどこかで相談ということで。

●新倉委員

個人的なことですけど、当日は、私が関係している合唱連盟に入っている鳥取の女声合唱団の定期演奏会があって私は立ち会えないかな。一応そういうことがあります。

○近藤主幹

個別にまた相談させてください。皆さんよろしく申し上げます。

5 閉 会

○梅田参事

以上をもちまして今日の議事を終了いたします。ありがとうございました。